

## ■ 関連団体の動き

# JWEA ; 一般社団法人日本風力エネルギー学会 —平成 24 年度が始まる—

一般社団法人日本風力エネルギー学会会長 勝呂 幸男

03-5220-5010, <http://www.jwea.or.jp>

### 平成 24 年度代表委員会、定時社員総会及び理事 事が終了し 24 年度が正式に開始された。

一般社団法人日本風力エネルギー学会はその前身が日本風力エネルギー協会で、30 年を超す歴史がある。この間先見の明を持った多くの先達が日本において風力エネルギーの活用を図ろうと各方面から取り組んできた団体である。その協会が昨年度に一般社団法人になり名称も一般社団法人日本風力エネルギー学会に変更した。

今の日本で待望されている再生可能エネルギーの中で、最も潜在能力の高い風力エネルギー機器を事故や故障がなく安定電源として多くの方々から認められるために、幅広い分野の技術を結集した応用集積技術機器の観点から取り組みを行ってきた。

本稿は細かな技術的内容ではなく、本年度の総会とその際に行われた講演会他の概要を報告し、私どもの活動の一端を紹介させて頂くこととする。

一般社団法人日本風力エネルギー学会（JWEA）の平成 24 年度は、5 月 24 日（木）に科学技術館において 11 時から代表委員会、13 時から社員総会が開かれ、提案された下記各議案が承認され平成 24 年度が正式に始まった。

社員総会に先立って開かれた代表委員会では、平成 23 年度事業報告と収支決算報告、平成 24 年度の役員選出、平成 24 年度の事業計画案と収支予算案が報告された。加えて会員表彰として、功労賞に前鶴岡高専教授の丹省一氏、前沖縄新エネルギー開発の山本克彦氏、35 歳以下の若手研究者に与えられる奨励章表彰では甲斐島武氏、鄭宰昊氏、高本剛太郎氏、村田淳介氏、渡邊文人氏に送られることが報告された。また、ここ数年の財政状況に鑑み、学会活動の更なる推進のために会員各位においても新規会員の増強活動に注力願いたい旨の要望が出された。ここで日本風力発電協会の会員各位においてもまだ当学会に加入していない方々の入会を是非お願い致したく考えます。その後、

出席した代表委員各位と意見交換を行った。

昼食をはさみ定時社員総会が開催された。会長が議長を務めることが承認され、以降署名人任命を行った後に総会の成立を確認し、議事が行われた。

審議事項では平成 23 年度事業報告があり、先ず特記事項として平成 23 年 6 月 20 日に一般社団法人日本風力エネルギー学会を登記し法人化と学会への名称変更を行ったこと、海外文献翻訳と講習会の開催を行い学会活動の第一歩としたことが報告された。

また昨年度の活動を通した中で感じた今後の課題として、昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災と福島原発事故以降に再生可能エネルギーへの期待が高まっている一方で、景観・騒音等の社会受容性の課題が大きくなってきており、当学会としてもこれらの課題に対して技術的な側面から風力エネルギーの健全な導入に今まで以上に貢献していくべきであるとの考えが表明された。

その後例年行われている総会開催報告、評議委員会（旧協会としての）、理事会の開催状況、各委員会の開催状況、協会誌／学会誌／論文集の発行、風力シンポジウムの開催、各種団体との共催事業や後援、国内外の関係団体への協力状況、合同研究会、普及啓発活動への参画等の状況が報告された。引き続き同年の決算が本体関係とシンポジウムについて報告され何れも承認された。

平成 24～25 年度役員選出結果では、選挙管理委員長から以下の通り報告され承認された。新しい学会の体制は以下のとおりである。

理事は 50 音順に荒川忠一（東大）、石原孟（東大）、今村博（風エネ研）、上田悦紀（三菱）、大屋祐二（九大）、坂野俊紀（東洋設計）、勝呂幸男（元三菱）、長井浩（日大）、永尾徹（NEF）、中村成人（ユラス EH）、林農（名大）、本田弘明（三菱）、前田太佳夫（三重大）、本橋元（鶴岡高専）、安田陽（関西大）、吉田茂雄（富士重）の各氏が選出された。

監事には出野勝（東洋設計）、遠藤昭（日本風力

開発)の各氏が候補として報告された。

これらの役員選出結果について会員各位により承認された。

報告事項として、新任理事による互選の結果、会長に勝呂、副会長に石原、中村、林の各氏が選ばれたことが報告された。また顧問として牛山泉氏、清水幸丸氏、関和市氏、棚橋正臣氏が報告された。なお関氏(前会長)は新たに顧問に就任をお願いしたものである。

併せて平成24～25年度の代表委員50名の一覧表が報告された。詳細は本稿では省略するが、JWEA 学会誌およびhp等を参照願いたい。

平成24年度の事業計画案と予算案については昨年度の報告を比較しながら示され、その内容についての審議が行われた。その内容は以下の通り。

- (1) 理事会、代表委員会、総会の開催
- (2) 委員会等の開催
- (3) 学会誌の発行
- (4) 風力エネルギーシンポジウムの開催
- (5) 第7回再生可能エネルギー世界展示会の開催への協力
- (6) セミナー・技術講習会の開催
- (7) 風力関連学会の国内および国際会議への学会役員等の参加協力等
- (8) 見学会の実施
- (9) 日本太陽エネルギー学会と共催の合同研究発表会
- (10) 風力利用事業に関する助言等普及啓発活動
- (11) 国内風力関連事業への支援
- (12) EWEA(欧州風力エネルギー協会)日本支部活動
- (13) WWEA(世界風力エネルギー協会)日本支部活動
- (14) GWEC(国際風力会議)日本支部活動
- (15) 会員の増強
- (16) 学会表彰制度の実施
- (17) 支部活動への支援である。

以上のような提案がなされ、何れの案についても会員各位から承認された。この結果を以て平成24年度の一般社団法人日本風力エネルギー学会の活動が開始することとなり閉会となった。この総会決議の後に直ちに理事会が開催され以下の通り各委員会と委員長が決定した。

企画・運営委員会；安田陽  
編集委員会；林農  
学術・事業委員会；吉田茂雄  
国際・広報委員会；上田悦紀  
表彰・啓発委員会；坂野俊紀  
論文委員会；前田太佳夫

詳細は学会hp又は学会誌を参照されたい。

以上が一般社団法人日本風力エネルギー学会の新年度の体制と今後の活動方針である。

### 無料の「系統連系」に関する講演会を開催した。

この総会の機会をとらえて、平成23年度の活動の一環である翻訳事業の中から「風力発電の系統連系～欧州の最前線～」が脱稿し無料公開されたのを機にこの資料を基に、訳出者で理事の安田陽氏(関西大学)、および近藤潤次氏(産業技術総合研究所)から一時間半にわたって欧州の風力発電設備を中心とした系統連系の講習会が開催された。

先の「洋上風力発電」の訳出に続くもので今後もこの種の講習会を進めていく予定である。

本講習会はEWEAが2009年3月にwebに掲載したもので、当学会ではその内容に先進性があり国内風車の導入に際して非常に参考になると考え、翻訳をEWEAより許可されて行ったものである。本資料は平成24年2月からWebで無料公開している。下記のサイトを参照されたい。

<http://www.jwea.or.jp/punlication/PoweringEuropeJP.pdf>

細かな内容は上記サイトを参照願いたい。今後我が国に再生可能エネルギーを増加しようとしている状況では非常に参考になる資料であると考えられる。

講習会終了後会員各位の懇親会が開かれ、現状の風力エネルギーに関して、またその他多くの意見の交換が開かれ意見交換や情報交換が行われた。(本稿終了)